

題目 大粒径マイカ GFA-50 の機能 –柔らかな光沢と赤味のある透明感–

分類 化粧品 **作成者** 浅野 浩志 **作成年月日** 2022年6月22日
(要旨)

大粒径の板状粉体は一般に光沢と透明性があるといわれている。ヤマグチマイカでは、独自の湿式粉碎でもマイルドな粉碎で得られるグロスマイカを大粒径だけに分級し、さらに再度微粒子をカットして、よりクリアなマイカだけを選抜した **GFA-50** を開発した。

本資料では、その特徴を実際のメイクアップ化粧品へ応用し、特徴的な柔らかな光沢や赤味のある透明感について確認できたので報告する。GFA-50 を配合することで、さらに質感アップした化粧品が開発されることを期待したい。

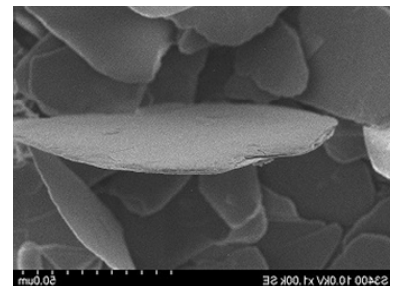
(キーワード)

大粒径マイカ、メイクアップ製剤、柔らかな光沢、透明感、質感アップ

(背景)

ヤマグチマイカでは、これまでマイカの湿式粉碎をよりマイルドに行うことでツヤ高い SA-310 や SA-350 などグロスマイカシリーズを提供してきた。しかし、10 ミクロン以下の微粒子がわずかに含まれており、さらなる光沢と透明性を追求できる余地が秘められていた。そこで、粉碎分級工程を見直して大粒径マイカを取り出し、さらに光を散乱させる微粒子を再カットする工程も加えて GFA-50 を創り出した。

品名	平均粒子径	アスペクト比	白度	光沢	嵩密度
GFA-50	50 μ m	60	78	23GU	0.34g/mL



本資料では、GFA-50 の特徴を生かした製剤開発のため、実際のメイクアップ化粧品に配合して、その使用感や仕上がりを評価した結果を報告する。

(実施事項)

1. ルースパウダー調製

GFA-50 を 0%、25% 配合したルースパウダーと、比較のためパール剤を 10% 配合したルースパウダーを調製した。

2. ルースパウダーの評価

光沢は、人工皮膚の半球体及びボール(ビュラックス製)に塗布して観察した。

(パウダー塗布時は化粧下地使用)

透明性はラッカーにルースパウダーを分散させ透明フィルム上に 8 ミルの塗膜を作製して文字透過性を比較した。

3. パウダーファンデーションでの確認

GFA-50 を 0%、5%、10% 配合したパウダーファンデーションを調製し、同様に比較した。また、追加としてスキンスコープによる観察も行った。

(結果)

1. ルースパウダーの半球体での観察



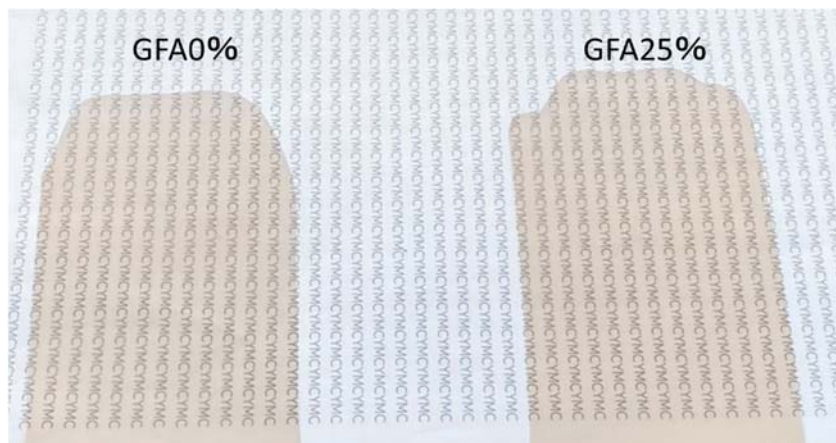
GFA-50 を配合したルースパウダーでは頂点部分の明るさと、周辺部のシャドー感が確認された。

2. ルースパウダーのドールでの観察



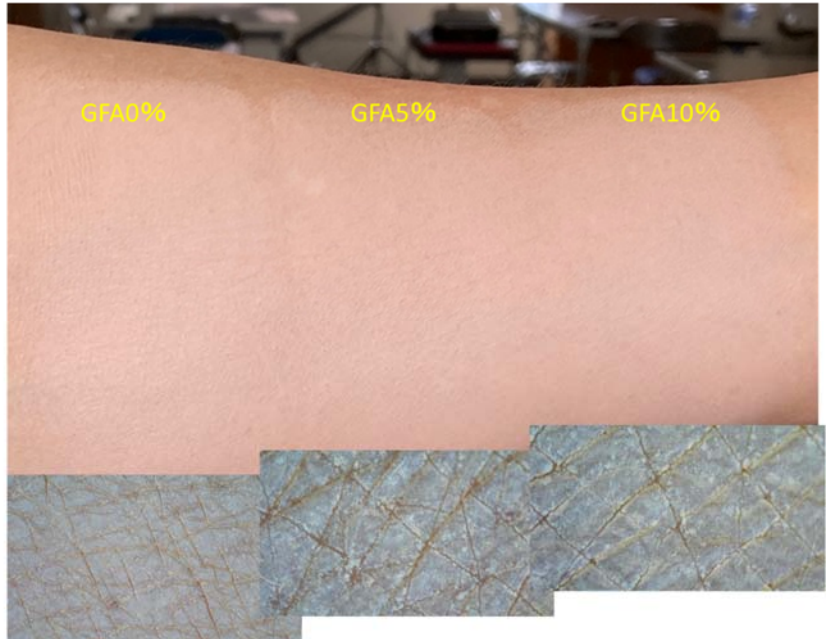
GFA-50 配合では、額から鼻筋にかけての部分とフェイスラインにシャドー部分が見られて立体感を作り出していた。また、パール剤はテカリが強調されるが GFA-50 は柔らかな自然な光沢であった。

3. 透明性評価



GFA-50 を 25% 配合したルースパウダーでは、その塗膜越しに文字をクリアに観察できた。また、若干の赤味を観察することができ健康的な肌を演出する可能性が示された。

3. パウダーファンデーションでの評価



パウダーファンデーションを塗布したドールにおいてもルースと同様に柔らかな光沢と立体感を観察できた。腕への塗布では、未配合では白くマットな仕上がりであるが、5%配合でも素肌感を感じられる透明な仕上がりであった。これはスキンスコープでの観察から皮丘上に点在する GFA-50 による効果であると考えられた。

(まとめ)

GFA-50 は微粒子の少ない大粒径のマイカである。このため、板状粉体であるマイカの特徴が引き出され、柔らかで自然な光沢と、やや赤み寄りの色調と透明感を有している。ベースメイクにおいては特に5%程度の配合からその特徴が見え始め、立体感と素肌感を両立させた質感のある仕上がりを演出できると期待する。